

パン、菓子製造業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	11～12	作業終了後、下取り作業場のスイングドアの前でシフト表を記入しており、ボールペンを下取り担当者へ返そうとした際、現場にいた作業者がスイングドアを勢いよく開けた為、スイングドアにぶつかり転倒し、臀部を床に強打した。	54	100～299
6	11～12	工場敷地内でフォークリフトを使用して機械移動作業中、一旦作業を中断する為、フォークリフトのエンジンを切った。その際、フォークリフトのツメが下がり、機械のバランスが崩れてしまい、機械の前にいたため避けきれず、左足が下敷きになってしまった。	52	50～99
6	22～23	工場包装室にて、仕込みロボットトラブルからの復旧作業において、ロボット内の小袋を除去しようとした際に、機械が動いてしまい、顔面をぶつけてしまった。患部をぶつけないようにすれば翌日からでも勤務可能との医師の判断であったが、本人が現場に入るのが怖いとの事で、休業となっている。（復帰見込みは未定）	25	100～299
7	12～13	被災者はホイップクリームを積んだ番重（5寸番重8枚および空番重1枚計9枚）と、ジャムを積んだ番重（5寸番重1枚および空番重1枚計2枚）を運搬していた。被災者側に番重9枚、前方に2枚を連結させた状態で通路を運搬していたところ、前方の番重台車が他の原料を載せたパレットにぶつかり、はずみで連結器具が外れ、被災者側の9枚の番重が前方に倒れてしまった。番重が倒れた拍子に跳ね上がった台車が被災者の両脛に当たり被災した。※ホイップクリームを積んだ5寸番重は1番重あたり20kg、8枚で160kg。	44	1000～9999
9	10～	ドリルを使用し小さなステンレス板にネジ穴を開ける作業中に、板を左足で押さえ右腕でドリルを持ちスイッチをONにして穴を開けた後に、スイッチがON固定	34	100～

	11	になっている事に気付かず押さえていた左足を離した事で板が回転し右太ももにあたり、切傷したものである。		299
10	9～ 10	冷凍庫で、ケーキのラックを運搬中、ラックが床に引っかかり、ラックが倒れてきたので受け止めた際手を痛めた。	31	100 ～ 299
10	14～ 15	包装工程の荷積み作業中に、別の作業員の動きに気づかず、ダンボール箱を受け取ろうとして、ラインに近づいた際、別の作業員が持っていたダンボール箱が左眼に当たり負傷した。	38	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html